

北陸地区

北陸地区代表
本吉達郎

● 主な活動団体（普及委員会関係）

- ・ 北陸ビブリオバトル
- ・ 石川県立図書館
- ・ 石川県立大学
- ・ 金沢大学
- ・ 新潟ビブリオバトル部

北陸ビブリオバトル（富山） 活動報告書



本吉 達郎(北陸地区-富山県)

E-mail: motoyosh@pu-toyama.ac.jp

北陸ビブリオバトル（富山県）では下記のビブリオバトル開催のサポートをいたしました。

全国大学ビブリオバトル 2015 北陸地区決戦&予選（富山）

・北陸地区決戦 in 富山市立図書館

主催：北陸ビブリオバトル 後援：読売新聞北陸支社

日時：2015年12月5日 13時30分

場所：富山市立図書館

出場者数：8名

チャンプ本：黒川 祥子：誕生日を知らない女の子

会場の様子

本／出場者一覧



著者	タイトル	氏名	所属
黒川祥子 	誕生日を知らない女の子	島崎莉奈	金沢大学人間社会学域国際学類3年
緒富祥彦	人生を半分あきらめて生きる	桂木大輝	富山大学人間発達科学部2年
小倉美恵子	オオカミの護符	中髙文人	石川県立大学生物資源環境学部4年
養老孟司	『バカの壁』	小楠卓司	金沢大学人間社会学域法学類4年

・ その他

地区予選（@富山市立図書館），地区予選（@富山県立大学）など

中学生とおとなでビブリオバトル！～2015年度の取り組み～

氏名 : 東 雅宏

所属 : 白山市立松任中学校 P T A



P T Aとして関わっている白山市立松任中学校で、「中学生とおとなでビブリオバトル！」を行っています。中学生が日頃から考えていることや思いをおとなとして共有していきたいという P T Aの思いから始まり、3年目となりました。

生徒会の組織改選に合わせて年に数回の開催ですが、生徒やおとなが自分の思いを伝え合い、生徒同士や生徒とおとな間で「顔の見える関係」を作っていくことができているように感じます。

今年度は、中学校を飛び出して公共施設での開催の試みや、公共図書館との合同企画による中学生大会の開催など、学校内にとどまらない活動につなげてきました。中学校内でも、生徒主催のビブリオバトルが定期的に行われ、学校全体で関心が高まっています。

2015年度の取り組み

月日	内容	備考
5月25日	中学生とおとなでビブリオバトル！	参加者約60人
7月7日	図書委員会主催学校ビブリオバトル	
8月12日	中学生とおとなでビブリオバトル！	参加者約75人、校外開催
10月24日	石川県立大学・学祭ビブリオバトル	中学生2人が紹介
11月17日	中学生とおとなでビブリオバトル！	参加者約65人
12月5日	ビブリオバトル松任地域中学生大会	
12月12日	市 P T A大会で活動報告	
2月15日	図書委員会主催学校ビブリオバトル	

松任中学校の概要

生徒数 850人 / P T A会員数 714人

2015 年度の活動の様子



(開催の様子)

保護者の観戦が増えてきたことに加え、他校生徒の観戦が増えてきたことも今年度の特徴です。



(校外での開催)

取り組みを多くの人知ってもらうために校開催も試みました。市民だけではなく県外からの観戦もありました。



(関心の高まり)

紹介本はビブリオ終了とともに借りられていきます。関連本も準備し、多くの生徒が借りることができるようにしています。



(中学生による開催)

中学生主催のビブリオも定期的に行われるようになりました。中学生から教職員にも声をかけ参加してもらっています。



(校外のビブリオバトルへの参加)

近隣の大学の学祭で行われていたビブリオバトルで、大学生と一緒に中学生 2人も本を紹介しました。



(市図書館による開催)

市図書館が主催するビブリオバトルを初めて行いました。他校の生徒も交えての「中学生大会」の開催です。

お薦め本PRで競う

松任中 書評合戦 東君がV

白山市松任中学校生徒とPTAによる知的書評合戦「ビブリオバトル」が二十五日、同校であった。書評を聴いた人が最も読みたいと思った「チャンプ本」には東拓宏君（三年）が紹介した「新釈走れメロス 他四編」（森見登美彦著、祥伝社）が輝いた。

同校PTAが主催。二〇一三年度から年一回開き、今回が五回目。生徒とPTAの書評合戦は全体的にも珍しいという。

東君と中邑凜子さん（二年）東崎雅さん（二年）が生徒代表、川本務さん、進地由紀恵さんの二人がPTA



チャンプ本に輝いた「新釈走れメロス 他四編」を紹介する東拓宏君。白山市松任中で

代表として参戦した。魅力を伝えた。五分間の持ち時間で生徒、教員、PTA、卒業生、高校生ら参加者約六十人にお薦め本のチャンプ本紹介者の東君には東雅宏PTA会長から賞状とトロフィーが渡された。東君

は「設定が複雑で読書感想文の題材にはならないけれど、短くて面白いのでぜひ読んでみて」と話した。

同校は今年、ビブリオバトルや朝読書時間の設定などで、子どもの読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受けている。

（松本芳孝）

チャンプ本に選ばれた「13カ月と13週と13日と満月の夜」を紹介する仮坂美香子さん＝白山市松任学習センターで



私のお薦め本読んで

白山市松任中学校の生徒とPTAがお薦めの本を紹介し、観客が一番読みたいと思った「チャンプ本」を投票で選ぶ「ビブリオバトル」が十二日、松任学習センターであった。紹介者はお気に入りの一冊の魅力を、自分の言葉で懸命に訴えた。（稲垣通謙）

松任中、初の校外書評合戦

同校では年に二回、生徒とPTAによるビブリオバトルを開いている。取り組みをより多くの人に知ってもらおうと、初めて校外で開いた。

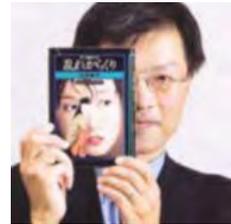
同校二、三年生計四人とPTA二人の計六人が、好きな本を一冊ずつ、五分間の持ち時間で紹介した。「サスペンスの概念を覆された」「今を生きる」などの素晴らしいと思った」など力説した。

最後に観客と紹介者七十五人が投票。三年生の仮坂美香子さん（二）が紹介した、小学生の少女が「老い」を体験するファンタジー小説「13カ月と13週と13日と満月の夜」が二十票を獲得してチャンプ本に輝いた。

仮坂さんは「自分の好きな本が多くの人に読みたいと思ってもらえてうれしい」と喜んだ。

「ビブリオバトル普及委員」名称利用申請

上田 敬太郎（北陸地区）
石川県立図書館所属
連絡先【kei2@muh.biglobe.ne.jp】



1. はじめに

私は石川県立図書館に所属しているが、平成 24 年度に石川県内公共図書館初としてビブリオバトルを開催した。平成 24 年度に 3 回、25 年度に 5 回、26 年度に 4 回ビブリオバトルを開催した。

2. 平成 27 年度の活動

平成 27 年度石川県立図書館でビブリオバトルを 4 回開催した。

6 月 14 日（日）「第 13 回ビブリオバトル」を開催し、司会を務めた。テーマは「いしかわ」で発表者は 5 名、参加者は 42 名だった。チャンプ本には『我が輩は珈琲博士』（廣瀬幸雄/著）が選ばれた。

8 月 21 日（金）夜「真夏の夜のビブリオバトル part2」を開催し、運営に携わった。テーマは「こわい本」で、蝋燭の灯りのもとで 6 名の発表者が発表した。参加者は 22 名。チャンプ本には『儂い羊たちの祝宴』（米澤穂信/著）が選ばれた。

11 月 14 日（土）石川県伝統産業工芸館とコラボして「工芸館ビブリオバトル」を「つくる」というテーマで開催し、司会を務めた。発表者は 6 名、参加者は 23 名だった。チャンプ本には『音楽の楽しみ』（ロラン・マニユエル/著）と『仕事ばんざい』（ランベルト・バンキ/著）の 2 冊が選ばれた。

8 月 3 日（月）石川県立七尾高等学校で高校生の図書館員を対象にビブリオバトルの研修会の講師を務めた。ビブリオバトルの説明をし、参加者によるミニビブリオバトル体験を開催した。ビブリオバトルの楽しさを知ってもらえたと思う。

平成 28 年 3 月 13 日（日）「第 16 回ビブリオバトル」を開催し、司会を務めた。発表者は 6 名、参加者は 32 名だった。チャンプ本には『春や春』（森谷明子/著）が選ばれた。

上記以外に個人として平成 27 年 5 月 12 日（火）「謎屋 de ビブリオバトル」を謎屋珈琲店で開催し、司会を務めた。発表者は 5 名で、参加者は 14 名だった。

また金沢ミステリ倶楽部で年 1 回開催しており、今年で 4 回目になるビブリオバトルを平成 28 年 3 月 19 日（土）に開催する。

3. 今後について

平成 28 年度も石川県立図書館においてビブリオバトル数回開催する予定である。夏の夜のビブリオバトルは好評なので、来年度もやる予定である。金沢ミステリ倶楽部のビブリオバトルも恒例になっているので、年度末に開催する。